

第4章 歴史の継承と文化芸術の発信

指定文化財をはじめとした歴史的資源の保存と活用や、誰もが身近に文化芸術に接し活動する環境づくりを行うことで、歴史、文化、芸術をすべての人が学び、楽しみ、心豊かな生活の実現をめざします。

関連する主な SDGs のゴール	4 質の高い教育を みんなに 	8 働きがいも 経済成長も 	11 住み続けられる まちづくりを 
---------------------	--	---	---

【施策8】歴史的資源の保存と活用

歴史的資源の保存と活用

- ア 文化財の調査・収集・保存
- イ 文化財の活用
- ウ 伝統文化の保護と継承に関わる支援
- エ 古文書・写真等資料の保存と活用

【施策9】文化芸術の発信

文化芸術の発信

- ア 文化芸術活動の支援
- イ 文化芸術拠点の活用

【施策8】歴史的資源の保存と活用

歴史的資源の保存と活用

ア 文化財の調査・収集・保存

■ 現状と課題 ■

市内にある歴史上・学術上価値の高い文化財を調査・記録・保存し、後世に伝えられるよう、特に重要なものは、文化財指定を行い、修理や管理のための補助事業を実施しています。

今後、市内における貴重な文化財を消失することなく、どのように保護し、次世代に継承していくかが課題となっています。

■ 施策の方向性 ■

- ◆文化財の調査を積極的に進め、歴史上・学術上価値の高い文化財について、指定を行います。
- ◆指定文化財の中で修理・復旧等が必要な文化財については、支援を行い、保護・保存に努めます。

■ 主な取り組み ■

1 文化財の調査及び指定

- 文化財の調査を進め、歴史上・学術上価値が高いと判断した場合、文化財指定を行い、保護に努めます。

2 文化財の管理・修理・復旧における支援

- 文化財の中には、年月が経つ中で自然に劣化していくことも少なくないことから、指定文化財の管理及び修理をする際の必要な費用の補助等を行います。

3 文化財保存活用地域計画の策定に係る情報収集

- 文化財保存と活用の指標となる文化財保存活用地域計画の策定について、情報収集を進めます。



市指定有形文化財 八雲社社殿（旧金山権現社社殿）

イ 文化財の活用

■ 現状と課題 ■

指定文化財や、発掘・収集した文化的資料は、市のみならず国民的財産であることから、展示公開するほか、文化財マップやホームページ等で広く文化財を周知しています。

収集した資料を効果的に活用するための中心となるべき施設が狭く老朽化していること、また保管場所が分散していることで効率的な資料の提供が難しくなっています。

■ 施策の方向性 ■

- ◆文化財センター「郷土資料館」等における常設展示と、テーマを定めた企画展等の実施により、文化財を広く紹介します。
- ◆ソーシャルメディアを活用した情報発信を行い、市内だけでなく市外の方へも情報発信を行います。
- ◆公開施設の老朽化、保管施設の分散について改善されるよう、施設の在り方を含めさまざまな角度から検討を行います。

■ 主な取り組み ■

1 収集した文化財の紹介

- 文化財センター「郷土資料館」や文化財センター分館「歴史自然資料館」の常設展示や企画展、イベントの開催により、所有している文化財を紹介し、新たな層を開拓します。

2 ソーシャルメディアを利用した広報

- 紙媒体による広報だけでなく、InstagramやX等のソーシャルメディアも活用し、文化財や郷土のことを広く広報します。

3 施設の有効活用

- 老朽化して手狭な文化財センター「郷土資料館」、分散している保管施設についての改善に向け、施設の在り方を含めさまざまな角度から検討を行います。



郷土資料館

ウ 伝統文化の保護と継承に関わる支援

■ 現状と課題 ■

市内には、「安行藤八の獅子舞」、「江戸袋の獅子舞」、「領家の囃子と神楽」、「安行原の蛇造り」、「川口の木遣」等、江戸時代から続く郷土芸能・民俗行事があり、歴史上・芸術上・学術上価値が高いものについては、市指定無形民俗文化財として保護しています。

これらの伝統文化は、地域の人々によって保存会が結成され、保存と継承がなされていますが、懸命な取り組みにも関わらず、後継者不足や都市化の進展、社会の変化等によって、継承が難しくなっているのが現状です。

また、同様に、鋳物業や植木業等における伝統的な技術・道具についても、保護・継承への支援ができるようにしていくことも課題となっています。

■ 施策の方向性 ■

- ◆郷土芸能や民俗行事、地場産業における民俗技術の調査を進め、価値の高いものを文化財に指定し、保護に取り組みます。
- ◆伝統文化の保存と継承に係る支援を行います。
- ◆伝統文化の保存・公開活動を市民に向けて広く普及していきます。

■ 主な取り組み ■

1 伝統文化の調査及び文化財指定

- 郷土芸能や民俗行事、地場産業の民俗技術等、伝統文化の調査を進め、歴史上・芸術上・学術上価値が高いと判断した場合、無形民俗文化財等に指定し、保護に努めます。

2 伝統文化の保存・継承に関わる支援

- 郷土芸能・民俗行事を保護し、継承していくため、その活動に関わる団体等に補助金を交付する等の支援を行います。

3 保存・公開の広報活動

- 文化財センター「郷土資料館」で伝統文化について展示紹介をするほか、「広報かわぐち」や文化財センターのホームページ等を活用し、伝統文化を広く周知します。



市指定無形民俗文化財 江戸袋の獅子舞

エ 古文書・写真等資料の保存と活用

■ 現状と課題 ■

本市にとって歴史上・学術上価値が高い、書跡、典籍、古文書等の資料、市内の様子を写した写真資料、行政文書等の収集・保管を行っています。

収集した古文書等は、近世・近代のものや絵図も多く、すべて1点しか存在しないものであるため、その価値を失わないよう、温度・湿度の管理、防虫の方法等、ほかの機関との連携を図りながら、よりよい保存方法について研究し、保管を行います。

また、多数ある歴史的文書・写真等を必要に応じて利便活用を図るため、データベース化や、解読・展示・閲覧等の活用の方向性を検討することが今後の課題となっています。

■ 施策の方向性 ■

- ◆古文書等の中でも歴史上・学術上価値が高いものを収集します。
- ◆古文書等の資料について、将来も文化財としての価値を失わない保管方法の研究に取り組みます。
- ◆多数ある収蔵文書・写真等を必要に応じてすぐに取り出せるように、データベース化を進めます。
- ◆古文書等資料の解読・展示・閲覧等の活用の方向性を検討します。

■ 主な取り組み ■

1 文書の収集

- 歴史的な古文書のみならず、現在の文書も含め、将来残していく必要のあるものについて積極的に収集します。

2 古文等の保管方法の研究

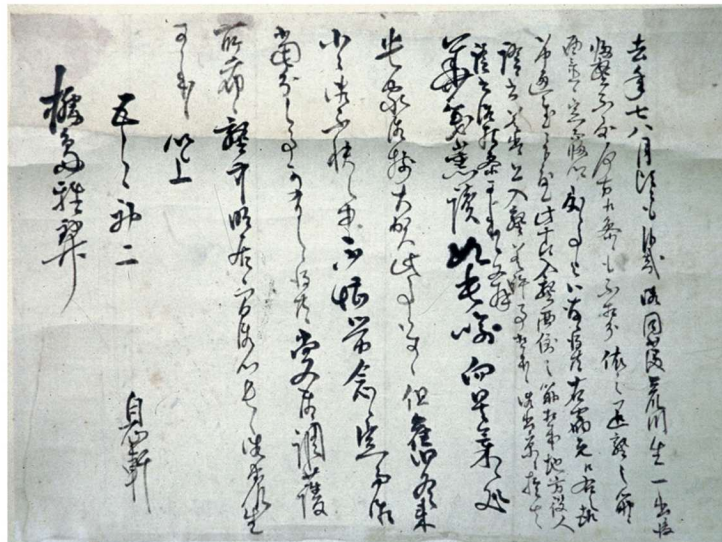
- 古文書等資料を光や湿度、虫や鼠等から守ることは、大変重要です。保管方法や日頃からの管理について研究を深め、取り組んでいきます。

3 古文書・写真資料等のデータベース化

- 収集した古文書・写真資料等を必要に応じてすぐに取り出せるよう、整理に努めるとともに、データベース化を進めていくことで活用しやすい環境をつくります。

4 古文書・写真等の活用方法の検討

- 古文書等資料の解読を進め、展示や閲覧等、活用するための方法を検討します。



市指定有形文化財 安井息軒書翰及び同家奉公人請状

【施策9】文化芸術の発信

文化芸術の発信

ア 文化芸術活動の支援

■ 現状と課題 ■

本市では、市民コンサートや文化芸術体験事業、アトリアでの展覧会やワークショップ等を開催しているほか、大規模改修後のリリアでのコンサートや演劇、新たに開館した美術館での展覧会等も予定しています。

また、市内の団体や個人の文化力向上をめざし、それぞれが行う自主的な文化事業や創造的な芸術活動に対し、各種助成制度や補助事業、交付金の交付等により文化芸術活動の推進を行っています。

しかしながら、急速な高齢化や高度な情報化の進展等の環境の変化により、市内文化芸術活動の中枢を担う各種文化団体においても、高齢化・会員数の減少がみられ、人材不足や高度情報化への対応等の問題が顕著化しています。

今後は、安定的な芸術活動が行えるよう、各団体に対して金銭的な援助だけではなく、活躍の場の提供や人材の発掘、育成に対する支援が必要です。

■ 施策の方向性 ■

- ◆市民に文化芸術に触れる機会や創作体験の場を提供し、誰もがゆとりと潤いを実感できる心豊かな市民生活の創出をめざします。
- ◆市民や文化団体等の文化芸術活動を助成制度や補助事業、交付金の交付、施設の貸出等により支援します。
- ◆文化芸術活動を担う人材の発掘、育成を図ります。

■ 主な取り組み ■

1 魅力ある文化芸術の鑑賞事業や創作体験の場の提供

- 市民の音楽文化の向上を図るため、身近に音楽に触れ、楽しむことができる市民コンサートの開催に取り組みます。
- 市民の文化力向上に寄与するため、伝統芸能をはじめ、幅広い分野の文化芸術に関する体験事業の実施に取り組みます。
- 市民の芸術に対する関心と理解を深めるため、リリアでのコンサートや演劇、美術館やアトリアでの展覧会、ワークショップ等の実施に取り組みます。

2 市民や文化団体等の活動支援

- 文化振興助成事業を通して、市民の自主的な文化芸術活動を支援します。
- 川口市文化団体連合会、川口市民音楽協会、川口市美術家協会と連携し、川口市文化祭や川口市美術展を実施するとともに、活動に対する補助金交付等を通して各団体を支援します。
- アート活動や作品発表の場として、リリアの各種ホール、美術館の展示室及び展示ホール、アトリアの展示室及びスタジオ、本庁舎ギャラリーの貸出を行うとともに、利用者募集について広く周知を図ります。

3 文化芸術活動に携わる人材の育成

- 郷土芸能を保存・継承する人材、音楽文化を担う若い世代の人材の育成を初午太鼓コンクール、青少年ピアノコンクール等への支援を通じて行います。
- 文化芸術の分野において顕著な業績を上げ、市民文化の向上発展に貢献し、ほかの模範となる人物・団体に文化三賞・青少年文化活動奨励賞を授与することにより、文化芸術に携わる人々の活動意欲の向上と市民の文化芸術への関心を促します。
- 市内で音楽活動を行うアーティストが活動できる場の拡充を図るとともに、アーティスト登録制度に登録されたアーティストの情報発信に努めます。

イ 文化芸術拠点の活用

■ 現状と課題 ■

本市の主な文化施設としては、音楽や舞台芸術の拠点であるリリアのほか、美術の分野においては美術館、アトリアがあります。

収蔵施設を備えた本市初となる美術館が開館し、これにより寄贈作品をはじめとする本市所蔵の美術作品を適切に保管・公開することが可能になりました。川口駅から至近でアクセスしやすい立地を生かし、さまざまな市民が気軽に集い交流する場となるよう、さまざまな企画展を開催し、あらゆる世代の方々に多様な文化芸術に触れていただき愛される施設をめざします。

また、平成2年の開館から30年以上経過したリリアについても、約2年間の大規模改修期間を経て令和8年4月にリニューアルオープンしました。これにより、リリアと美術館を核とした川口駅西口周辺を文化芸術の創造発信拠点として位置づけ、文化芸術の振興に努めます。

一方で開館から20年を迎えたアトリアは老朽化による施設の改修及び空調設備等の設備機器の計画的な更新が課題となっています。同様にリリア、美術館においても今後の計画的な修繕計画が必要です。

■ 施策の方向性 ■

- ◆市民が集い交流し、創造力や文化、歴史、産業を育む新たな文化芸術の創造発信拠点として、リリア・美術館を活用します。
- ◆事業の安定的な運営及び市民の文化芸術活動の活性化のため、施設の改修及び設備機器の更新を計画的に進めます。

■ 主な取り組み ■

1 文化芸術拠点の活用

- 川口駅西口周辺を文化芸術の創造発信拠点として整備し、あらゆる世代の人々が文化芸術に親しみ触れる機会の提供に努めます。

2 計画的な施設の改修・設備の更新

- 各施設において、事業に支障をきたすことがないよう、計画的に改修・設備の更新に取り組みます。



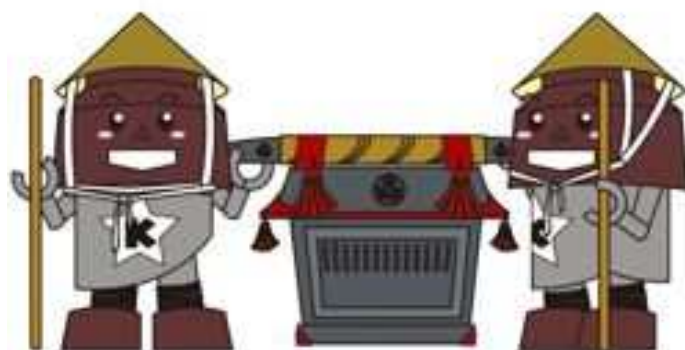
総合文化センター・リリア



川口市立美術館



アートギャラリー・アトリア



第5章 教育行政経営の基盤強化

少子高齢化に伴う人口減少や、社会構造の変化を見据えた学校施設の適正規模・適正配置と、教育関連施設の集約化を含めた適切な整備に取り組みます。また、安全・安心な教育環境の整備や効率的な管理・運営を行うことにより、教育行政経営の基盤強化を図り、良好な教育環境のもとで総合的な教育の発展をめざします。

関連する主な
SDGs のゴール



【施策 10】教育施設の適正化

教育施設の適正な環境整備・充実

- ア 小中学校の適正規模・適正配置
- イ 学校施設の整備・充実
- ウ 社会教育施設の整備・充実
- エ スポーツ施設の整備・充実

【施策10】教育施設の適正化

教育施設の適正な環境整備・充実

ア 小中学校の適正規模・適正配置

■ 現状と課題 ■

小中学校の適正規模・適正配置は、児童生徒にとってよりよい教育環境の整備と充実した学校教育の実現を目的に、将来的に必要な学校数や在籍する児童生徒数の適正化を図る取り組みです。

全国的に少子高齢化が進み、年少人口（0～14歳）が減少している中、本市の小中学校に在籍する児童生徒数（川口市立高等学校附属中学校、川口市立芝西中学校陽春分校、特別支援学級児童生徒を除く）も、令和2年から令和7年の5年間で約2,500人減少しており、この状況は、今後さらに続いていく見込みとなっています。

加えて、施設の老朽化等に伴う学校施設の更新時期を迎える学校が多くなる中、本市においても計画的に小中学校の適正規模・適正配置を進めていく必要があります。

■ 施策の方向性 ■

- ◆社会情勢の変化や本市の教育課題を勘案し、これから求められる学校のあり方について検討を進め、未来を担う児童生徒の教育環境の整備と学校教育の充実に努めます。
- ◆小中学校適正規模・適正配置基本方針及び将来的な児童生徒数の推計と学校施設の更新時期を組み合わせた（仮称）川口市立小中学校再編計画にもとづき、小中学校の適正規模・適正配置に取り組めます。

■ 主な取り組み ■

1 中長期的計画にもとづく教育環境の整備

- 川口市立小中学校適正規模・適正配置基本方針にもとづき、学校規模及び児童生徒数の適正化を進めるとともに、社会情勢の変化等に即して、定期的・計画的に同方針の見直しを行います。
- 地域によって差があるものの、児童生徒数の減少は本市全体の課題であることから、(仮称)川口市立小中学校再編計画を策定し、地域を単位とした学校再編に取り組みます。

2 次代を見据えた学校教育の充実

- 小学校課程から中学校課程への円滑な接続や多様な人間関係の構築、小学校における教科担任制のさらなる充実に向けて、小中連携・一貫教育の一層の推進に努めます。
- 学校が地域連携の拠点としての役割を担い、学校と地域がより一体となつてこどもを育む環境を構築していけるよう、学校以外の教育施設との複合化に向けた検討を進めます。

3 市民の理解促進

- 「広報かわぐち」や各種チラシ、市ホームページ等への掲載、市民向け説明会の開催等を通じて、小中学校の適正規模・適正配置について広く周知・広報を行い、市民の理解促進を図ります。

イ 学校施設の整備・充実

■ 現状と課題 ■

学校施設の整備については、これまで安全・安心な教育環境確保のため、主に耐震化、普通教室へのエアコン設置、中学校体育館への空調機設置、トイレの洋式化及びスロープの設置を進めてきました。

しかし、施設の多くは建築後 40 年以上が経過し、校舎や設備の経年劣化が進んでいるため、老朽化対策を進め、施設の健全化を図ることが重要です。これからの学校施設は、改修や改築が集中的に見込まれ、更新費用等の平準化が必要であることから、将来を見据え教育局内で連携を図りながら、中長期的な視点での計画的な整備が求められます。

また、少子化の影響により児童生徒数が減少する一方、特別支援学級等は増加傾向にあります。学校規模や必要な学校数の適正化を図り、児童生徒の学習環境を整備することが求められます。

■ 施策の方向性 ■

- ◆学校施設は児童生徒等が1日の大半を過ごす活動の場であるとともに、災害時には地域住民の避難所としての役割を果たすことから、安全性の確保を最優先に施設整備を進めます。
- ◆社会の多様性や生活様式の変化を考慮し、施設の機能性を向上させるとともに、新たな教育内容や教育方法の変化に対応できるよう、学習環境の整備に努めます。
- ◆施設の老朽化対策については、中長期的な整備方針である川口市学校施設長寿命化計画及び（仮称）川口市立小中学校再編計画と連動しながら整備に努めます。

■ 主な取り組み ■

1 安全・安心な施設整備の推進

- 天井や外壁材等の非構造部材や、設備等の安全性について、継続的な点検を行い、必要に応じて適切に対策を講じます。
- 夏季において子どもたちが継続的かつ安全に体育の授業ができる環境を整備するとともに、災害時の避難所としての機能向上を図るため、小学校体育館に空調機の設置を進めます。

2 学習環境及び生活環境の整備

- 時代に即した新たな学習内容や多様な指導形態に対応できるよう、学習環境の向上に努めます。
- 生活様式の変化や社会の多様化に対応するとともに、トイレの洋式化やバリアフリー化を推進し、誰もが安全かつ円滑に学校施設を利用できるよう整備に努めます。

3 学校施設の老朽化等の対策

- 施設を将来にわたり長く使い続けるために、継続的な点検を実施し、日常的な維持管理に努めるとともに、経年劣化の著しい部分については緊急性や必要性に応じて適宜適切に維持補修を進めます。
- 老朽化の進んだ学校施設については、川口市学校施設長寿命化計画や、(仮称)川口市立小中学校再編計画、(仮称)川口市立小中学校水泳の授業及び施設の在り方に関する基本方針にもとづき、中長期的な視点に立ち、改修や改築を検討します。

ウ 社会教育施設の整備・充実

■ 現状と課題 ■

多くの市民が生涯学習活動の場として、公民館や図書館等の社会教育施設を利用していますが、社会教育施設の多くは、昭和40年～50年代にかけて建設されたため老朽化が課題となっており、施設の修繕、改修工事等を計画的に行う必要があります。

また、施設の整備にあたっては、少子高齢化に伴う人口減少や社会構造の変化に対応するとともに、施設の利用実態等も踏まえ検討していく必要があります。

■ 施策の方向性 ■

- ◆施設の修繕、改修工事等を計画的に行い、安全で利用しやすい環境の維持に取り組めます。
- ◆施設整備にあたっては、少子高齢化に伴う人口減少や社会構造の変化と合わせ、施設の利用実態等も踏まえ統合・再編等を含めた施設の適正化を検討します。

■ 主な取り組み ■

1 社会教育施設の計画的な整備

- 施設の修繕、改修工事を計画的に行い、安全で利用しやすい環境の維持に取り組みます。
- 施設や設備機器の計画的な改修により、施設の長寿命化や安全性・機能の向上を図るとともに、施設の更新等の際には、統合・再編等を含めた施設の適正化に取り組みます。



鳩ヶ谷公民館



横曽根公民館・横曽根図書館

エ スポーツ施設の整備・充実

■ 現状と課題 ■

本市では、これまで多くのスポーツ施設を整備・運営し、スポーツを身近に捉え、誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりに努めるとともに、地域コミュニティの醸成にも寄与してきました。多くのスポーツ施設が開設から40年以上経過し、老朽化が課題となっており、持続可能な施設運営に向けた取り組みが必要となっております。

また、サービス提供や施設運営について、社会環境の変化や市民ニーズの多様化に対応するため、民間活力を生かした多様な運営主体として、指定管理者制度を導入しています。

■ 施策の方向性 ■

- ◆誰もが健康増進や体力向上、競技力向上等、それぞれの目的に応じてスポーツに親しむことができるようスポーツ施設の充実に取り組みます。
- ◆いつでも安全・安心にスポーツに親しめるよう、施設の計画的な改修を進めるとともに、施設の適正化に取り組みます。
- ◆社会環境の変化や市民ニーズの多様化に応えるため、スポーツ活動の場として質の高い市民サービスの提供に向けて取り組みます。

■ 主な取り組み ■

1 スポーツに親しむことができる基盤の整備

- 埼玉県屋内 50m水泳場の整備に合わせた北スポーツセンターの建替えを含む、(仮称)神根総合運動公園の整備を進め、新たなスポーツ及び交流の拠点として活用します。
- こどもから高齢者まで幅広い年齢層の方や障害のある方等、誰もが安心してスポーツに親しめるよう、施設のバリアフリー化に努めます。

2 施設の長寿命化と適正化の推進

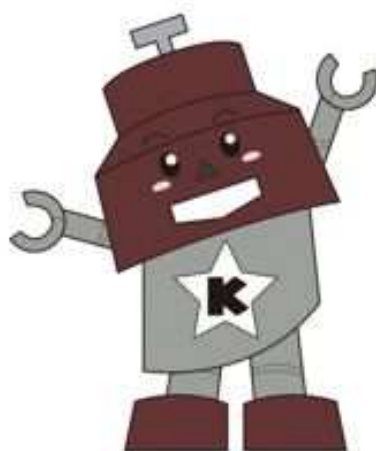
- 施設や設備機器の計画的な改修により、施設の長寿命化や安全性・機能の向上を図るとともに、施設の更新等の際には、統合・再編等を含めた施設の適正化に取り組みます。

3 質の高い市民サービスの提供

- 民間の創意工夫やノウハウを生かした指定管理者制度など、民間活力の活用等により、社会環境の変化や市民ニーズの多様化に対応するとともに、効率的・効果的な施設管理運営に努めます。



(仮称) 神根総合運動公園イメージ



第3編 計画推進にあたって

第1章 計画の実現に向けて

1 基本的事項

計画の実現に向けては、施策や取り組みを確実に進めること（実行性）とともに、それらを効果あるものとする（実効性）が求められます。本計画での実行性を確保し、実効性を高めていくために、「情報の共有」、「連携の推進」、「新たな変化への対応」という3つの事項に留意していきます。

また、本計画の実現には各施策を実施するための予算や人員が必要となります。そのため、引き続き国や県に対して教育予算の拡充や教職員定数、加配等の教職員の配置面等の充実について積極的に働きかけ、必要な予算や人員の確保・充実に努めていきます。

2 情報の共有

本計画の実現に向け、多様な主体が連携して課題に取り組み、目標を共有しながら進めていくためには情報の共有が必要です。そのため、本計画の実現のため必要となる情報はじめとする社会のさまざまな情報を幅広く収集・発信していきます。

併せて、本計画の取り組みにより得られた成果の発信を行うことにより、本市の魅力を広め、本計画のさらなる推進に努めていきます。

3 連携の推進

(1) 学校・家庭・地域との連携

今日、教育における課題は多様化・複雑化しており、本計画の推進にあたっては、教育行政だけではなく、学校・家庭・地域との連携が重要になります。そのため、引き続き学校・家庭・地域社会との連携を図り、こどもたちの知・徳・体の調和のとれた人間形成を推進するとともに、市民が生涯にわたり学び続ける地域社会の実現に向けて、教育施策を展開していきます。

また、こどもたちが新しい時代に求められる資質・能力を身につけるため、大学・企業・研究機関・NPO等と連携し、教育の質の向上とともに、子育て家庭への包括的な支援に向けた研究・研修等の取り組みを一層推進していきます。

(2) 関係部局間・関係機関等との連携

各施策に連動し、教育委員会における横断的な推進体制が迅速かつ柔軟に組めるよう、教育委員会の組織及び職員間の連携の一層の強化を図ることにより、本計画を総合的に推進します。

教育を取り巻く課題は多様化しており、さまざまな諸課題に対応するため、教育委員会以外の関係部局間及び関係機関との連携を図りながら、情報の共有化、協力体制の充実等を推し進めます。

4 新たな変化への対応

急速な社会情勢の変化により、計画策定時には想定されなかった教育上の課題が生じることも考えられます。その際には、社会情勢の変化に即した新たなニーズ等を適切に把握し、実効性のある計画となるよう努めていきます。

また、そのような変化に迅速に対応できるよう、本計画の実現に向けたさまざまな取り組みを通じて職員の資質向上に努めるとともに、引き続きSDGs（持続可能な開発目標）の視点を取り入れて対応内容を検討していきます。

第2章 効果的な計画の推進に向けて

1 計画の進行・管理

本計画の実効性を高めるためには、P（Plan：計画）D（Do：実行）C（Check：点検・評価）A（Action：改善）というPDCAサイクルのもと、進行管理、点検・評価を実施し、これらの活用を十分に図るとともに、広く外部からの意見を聴き、具体的な事業を検討することが必要です。

本市では、毎年度、施策や取り組みの実施状況を自ら点検・評価していくとともに、併せて教育に関する学識経験を有する外部の方々からの知見の活用を図る外部評価を行っています。また、目標ごとに設定した指標の進捗評価も行っています。これらの評価結果をその後の施策や取り組みに生かしながら、効果的な教育行政の推進を図っています。

毎年度、施策や取り組みの評価、指標の進捗評価、外部評価の結果を公表し、市民への説明責任を果たしながら、計画の進行・管理を今後も一層推進します。



2 指標

基本目標Ⅰ すべてのこどもが学べる多様な環境づくり

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
埼玉県学力・学習状況調査において県平均を上回る項目数	埼玉県学力・学習状況調査において小学校4年生から中学校3年生までの国語、算数・数学及び英語の全項目数14項目の中で、埼玉県平均正答率を上回った項目数。 この数を把握することで本市の学力の定着度を測ることができると考えこの指標を設定した。	令和3年度は14項目のうち県平均を上回る項目が10項目で、本市の児童生徒の学力は一定水準を維持した傾向にある。今後も10項目以上で上回りそれを維持することをめざし、目標値を設定した。	全14項目のうち 1項目	全14項目のうち 10項目	24
英語教育実施状況調査において中学校第3学年におけるCEFR A1(英検3級)レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合	中学校第3学年におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合。 生徒のコミュニケーション能力を高める外国語教育を充実させることにより、グローバル化に対応した国際社会に貢献できる人材を育成することが重要であることからこの指標を設定した。	グローバル人材の育成には、生徒の着実な英語力向上をめざしたPDCAサイクルを構築した英語教育の改善を行うことが重要である。そこで、義務教育最終学年の中学校第3学年において、CEFR A1(英検3級)レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数を、政府の目標値以上の70パーセントに設定し、取り組むこととした。	58.4%	70%	28
特別支援学級設置校数	小中学校における特別支援学級設置校数。 国や県のインクルーシブ教育システム構築の政策の一つに、「多様な学びの場」の充実があげられている。特別な支援を必要とする児童生徒が地元の小中学校で学ぶ環境をつくるためにも、特別支援学級の設置促進は重要であることからこの指標を選定した。	本市は拠点校方式により、特別な支援を必要とする児童生徒が、課題克服に向けて少人数で効果的に学ぶことをめざしている。インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育を推進するためにも設置率80%をめざして、今後も適正規模、適正配置をめざし計画的に設置を進めていく。	小学校38校 中学校17校	小学校43校 中学校20校	36
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「将来の夢や目標を持っている」という質問に「当てはまる」または「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合。 将来の夢や目標を描ける児童生徒を増やすことが児童生徒の学校生活への意欲や主体性の向上につながるから、この指標を設定した。	夢や目標を持つ児童生徒を増やすことが児童生徒の学校生活への意欲や主体性の向上につながるからこの目標を設定した。	小学校6年生 83.6% 中学校3年生 65.0%	小学校6年生 毎年前年度を上回る 中学校3年生 毎年前年度を上回る	42
全国学力学習状況調査の質問紙のうち、自尊感情を示す割合	全国学力・学習状況調査で実施している質問紙の中の「自分には、よいところがあると思いますか」の項目について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童生徒の割合。 自尊感情を高めることが、豊かな心を育むことにつながるから、この指標を設定した。	市内平均は上昇傾向ではあるものの、県平均、全国平均に及ばない現状である。 全国平均より高い数値となっている県平均を基準とし、県平均を上回る目標値とした。	小学校 83.1% 中学校 80.7%	小学校 84.0% 中学校 83.0%	42

第2章 効果的な計画の推進に向けて

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
各学年において「人権感覚育成プログラム」を活用した割合	市内小中学校の各学年において人権感覚育成プログラムを活用した割合。 ここまで、人権感覚育成プログラムを校内研修に取り入れることで、人権感覚を育成する教員集団の育成に努めてきた。 今後は研修を生かし、実践に移していくために本指標を設定した。	人権感覚育成プログラムを校内研修で活用した割合は100%となり、教員の意識は高まってきたものと考えられる。 しかし、授業での活用となると100%ではなく、また、すべての学年においての活用はされていないのが現状である。 今後は計画的に人権感覚を育成することが求められることから、より徹底を図るために小学校では2学年ごと、中学校では各学年での活用の割合を目標値として設定した。	小学校 第1・2学年 90.4% 第3・4学年 94.2% 第5・6学年 94.2% 中学校 第1学年 92.6% 第2学年 92.6% 第3学年 96.3%	小学校 第1・2学年 100% 第3・4学年 100% 第5・6学年 100% 中学校 第1学年 100% 第2学年 100% 第3学年 100%	46
新体力テストの5段階絶対評価で上位3段階(A+B+C)の児童生徒割合	各学校が実施している新体力テストの各種目の記録を得点化し、その合計を5段階絶対評価した上位3段階に入る児童生徒の割合。 客観的な基準により、体力向上の状況を示す数値であることから、この指標を選定した。	埼玉県5か年計画における目標値を超えることをめざし、目標値を設定した。	小学校 75.3% 中学校 79.8%	小学校 85.0% 中学校 88.0%	52
高等学校卒業後、大学への進学者と国公立大学進学者の割合	市立高等学校の卒業生のうち、現役生の大学進学者及び国公立大学へ進学した生徒の割合。 大学への進路指導を強く推し進めていくことからこの指標を設定した。	市立高等学校が、国公立大学進学者型教育課程を編成し、約90%の生徒が4年制大学進学希望であることから設定した。	大学進学者 88.0% 国公立大学進学者 15.1%	大学進学者 90% 国公立大学進学者 20%	54

第3編 計画推進にあたって

基本目標Ⅱ こどもの成長をサポートする基盤づくり

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
教育研修生「学級経営研修会」受講修了者の割合	採用4年次の教員における教育研修生研修「学級経営研修会」受講修了者の割合。 経験豊富な教職員の大量退職に伴う若手教員の増加により、一層の資質向上が必要であることから、この指標を設定した。	本研修は、意欲が高く、かつ、学校長の推薦を受けた教員に対して行う研修である。2年次以降の研修の機会を確保し、各教科等における指導法や学級経営等の資質向上を目標としている。このことから4年次までの間に教育研修生研修「学級経営研修会」の70%の受講をめざし、この目標値を設定した。	51.6% 2年次～4年次の 教員数349名 研修受講者数 180名	該年度の4年次 教員の本研修受講 率 70%	62
いじめの解消率	いじめ認知件数に対する解消率（翌年度6月末実績値）。 いじめは重大な人権侵害であり、決して許されるものではない。いじめの解消に向けて、早期発見・早期対応をすることが重要であることからこの指標を選定した。	一人ひとりの児童生徒にとって、明るく安心して学べる学校であるためには、認知したいじめをすべて解消することが不可欠であるため、この目標値を設定した。	小学校 93.2% 中学校 93.9%	小学校 100% 中学校 100%	68
不登校児童生徒の割合	全児童生徒数に対するの不登校児童生徒の割合。 平成27年度以降、少しずつ改善が図られてきたが、平成29年度から不登校傾向の割合が増え続けている。このことから不登校児童生徒を減少させることが喫緊の課題であると捉え、学校や関係機関と連携を図りながら現状値からの改善を進めることをめざし、本数値を設定した。	適切なサポートにより、不登校児童生徒の減少をめざすため「現状値を下回る」とした。	小学校 1.92% 中学校 6.94%	現状値を下回る	70
不登校生徒への指導の結果、登校する、またはできるようになった児童生徒の割合	文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等児童生徒指導上の諸課題に関する調査」における不登校生徒の中で支援の結果好ましい変化がみられた生徒の割合。 不登校に対する社会の見方が「問題行動」から「理解し受容するもの」へと変化していることから、学校が行っている不登校児童生徒への支援において、社会的に自立するための力を身につけることが必要であるため、この指標を選定した。	さまざまな事情を抱える不登校児童生徒に対し、学校は個に応じた支援策を考え、他機関と連携しながら対応を行っている。不登校は「誰にでも起こり得るもの」とはいえ、何らかの好ましい変化をめざしていることから、この目標値を設定した。	小学校 31.7% 中学校 19.5%	現状値を上回る	70
地域の方に勉強や運動を教えてもらっていると感じている児童の割合（小6）	埼玉県学力・学習状況調査における児童質問紙調査「地域の大人に勉強やスポーツを教えてもらったり、いっしょに遊んでもらったりすることがありますか」への好意的回答をしている児童の割合。 こどもの成長をサポートする基盤づくりに向けて、学校だけでなく家庭・地域にもより積極的に関わってもらい必要性を感じ、その成果をみとめるために埼玉県学力・学習状況調査における児童質問紙の本項目を指標として設定した。	コミュニティ・スクール等の活動を通して5年間をかけて基盤の整備推進を図り、現状値を上回ることをめざし設定した。	50.3%	現状値を上回る	76

第2章 効果的な計画の推進に向けて

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
地域・社会をよりよくするための参画意識 (中3)	全国学力・学習状況調査生徒質問紙「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対して好意的回答を示している生徒の割合。 こどもの成長をサポートする基盤づくりに向けて、学校だけではなく家庭・地域にもより積極的に関わってもらうことが、生徒にとっての参画意識の醸成につながると捉え、全国学力・学習状況調査における生徒質問紙の本項目を指標として設定した。	コミュニティ・スクール等の活動を通して5年間をかけて基盤の整備推進を図り、現状値を上回ることをめざし設定した。	81.8%	現状値を上回る	76
各学校における「学校応援団平均活動回数」(年間)	市内小中学校の各学校の学校応援団の1校あたり年間の平均活動回数(安心安全見守り活動を除く)。さらなる活動内容の充実が、学校・家庭・地域の教育力の向上につながることから、この指標を設定した。	登下校の見守り活動については、多くの活動回数があり定着しているが、学習支援や地域活動と連携した活動等、そのほかの活動を充実させていく必要がある。年間の授業時数等を考慮し、現状値を上回る活動回数をめざし目標値を設定した。	小学校 82.7回 中学校 11.4回	現状値を上回る	76
放課後子供教室の実施校数	市内小学校において放課後子供教室を実施している校数。放課後子供教室実施校数の増加が、こどもたちの安全・安心な居場所の確保及び、幅広い地域住民等のさらなる参画につながることから、この指標を設定した。	放課後子供教室を市内すべての小学校で実施することをめざして、この目標値を設定した。	小学校 45校	小学校 52校	76

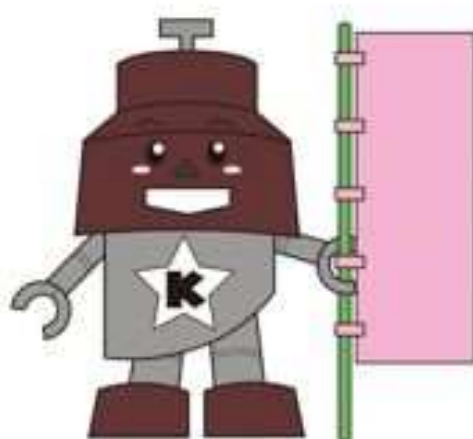
第3編 計画推進にあたって

基本目標Ⅲ 生涯学習・スポーツができる環境づくり

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
生涯学習施設の年間利用者数 ※南平文化会館を除く	市内公民館及び専門施設の年間利用者数。 今日的課題や市民ニーズに合わせた学習機会の提供とその成果を示すものとしてこの指標を選定した。	公民館の建替えによる閉館や人口減少等により、今後、利用者数の減少が見込まれるが、市民ニーズの把握に努め、幅広い年齢層の公民館の利用促進等で、現状値を上回る利用者数をめざし、目標値を設定した。	1,583,258人	現状値を上回る	86
公民館及び専門施設の年間講座参加者数	市内公民館及び専門施設主催の年間講座参加者数。 今日的課題や市民ニーズに合わせた学習機会の提供とその成果を示すものとしてこの指標を選定した。	公民館の建替えによる閉館や人口減少等により、今後、講座参加者数の減少が見込まれるが、市民ニーズの把握に努め、オンライン講座の充実等、多様な講座の提供等で、現状値を上回る講座参加者数をめざし、目標値を設定した。	112,278人	現状値を上回る	86
図書館年間利用者数	図書館資料貸出数で捉えたと閲覧等の場合数値に含まれないため、利用者数とした。	令和2～6年度の利用者数の推移は新型コロナウイルス感染症防止対策や施設改修に伴う部分閉館等により減少しているため、これらの影響がない令和5年度の実績値(令和7年度末に閉室した芝園分室を除く)を目標値とした。	1,337,968人	1,506,343人	88
科学館の年間利用者数	科学館における科学展示事業・天文台事業・プラネタリウム事業の参加者数、科学出張教室・太陽観測出射授業・夜間出張観望会等の館外事業参加者数。科学への市民の興味・関心を引く事業の充実や、博学連携をめざした理科教育への支援の成果を示すものとして、この指標を選定した。	今後、人口減少による利用者数の減少が見込まれるが、利用者ニーズの把握や新たな学びの機会の提供に努めることで、現状値を上回る利用者数をめざし、目標値を設定した。	229,270人	現状値を上回る	90
スポーツ施設の年間利用者数	市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズや健康に対する意識が高まっており、スポーツ活性化を促進し、健康・体力づくりやスポーツ人口の拡大を示すものとして、この指標を選定した。	人口減少等により施設利用者数の減少が見込まれることから、今後の見通しは困難であるが、社会環境の変化や利用者ニーズに応え、誰もがそれぞれの目的に応じてスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりをめざし、現状値を上回ることを目標とした。	1,899,623人	現状値を上回る	92

基本目標Ⅳ 歴史の継承と文化芸術の発信

指標名	指標の定義・選定理由	目標値の根拠	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度)	ページ
文化財センター及び分館への年間来館者数	文化財の調査・保存や伝統文化等の文化財情報を市民へ発信する場である常設展示・特別展示等において、情報を共有していただいた市民の人数として、この指標を設定した。	旧文化財センター本館の閉館及び旧田中家住宅の休館を受け、新たな文化財センター「郷土資料館」及び「歴史自然資料館」2館の実績から、毎年0.5%増を目標とした。	53,714人	55,000人	100
古文書・写真等資料の収蔵点数	解読・データベース化し活用されていく前提となる、古文書・写真等資料の収蔵（寄贈・寄託）されている数として、この指標を設定した。	今後も市に寄贈・寄託する旧家及び所有者は減少が見込まれるが、これまでの実績も踏まえ、約370点の増加を目標とする。	92,279点	92,600点	104
文化芸術事業に携わる団体・個人の数	文化芸術活動を担う人材の育成を促進するにあたり、実態を捉える数値として、設定した。	文化芸術団体の会員のほか、審議会等の委員、イベントの出演者、展覧会の出展者、ワークショップの講師等として、本市文化芸術事業に携わる団体・個人の数を毎年増加させることを目標とした。	1,582人	前年実績値の2%増	106
総合文化センター及び川口市立美術館の総来場者数	文化芸術拠点としているリリア及び美術館の総来場者数を指標として選定した	リリアの過去の来場者数と美術館の来場者数の見込みから目標を設定した。（総合計画と同じ目標値）	現状値なし	770,000人	108



■資料

関係法令（抜粋）

1. 教育基本法

（教育振興基本計画）

第十七条 政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

2 地方公共団体は、前項の計画を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画を定めるよう努めなければならない。

2. 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（大綱の策定等）

第一条の三 地方公共団体の長は、教育基本法第十七条第一項に規定する基本的な方針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下単に「大綱」という。）を定めるものとする。

2 地方公共団体の長は、大綱を定め、又はこれを変更しようとするときは、あらかじめ、次条第一項の総合教育会議において協議するものとする。

アンケート調査の概要

1. 調査実施の目的

本アンケートは、こども基本法第11条の規定に基づき、川口市の教育施策にこどもをはじめ、当事者の声を反映するため、小中学校児童生徒本人、市立高校生本人、幼児保護者、小中学校児童生徒保護者、小中高等学校教員を対象に実施したものです。

2. 調査対象者

◇調査期間：令和7年9月12日（金）～10月6日（月）

◇調査対象及び調査方法：

	調査区分	調査対象	対象者区分 (抽出方法)	調査方法
①	児童生徒本人 (小4～中3)	市内小中学校に通う小学4年生 から中学3年生全員	悉皆	配付：学校端末を通じ た依頼文の配付 回収：WEB 回答
②	市立高校生本人 (高1～高3)	川口市立高等学校に通う 高校1年生から3年生全員	悉皆	
③	幼児保護者 (4～6歳)	市内在住の4～6歳の子どもが いる保護者2,000人	無作為抽出	配付：郵送による依頼 文の配付 回収：WEB 回答
④	児童生徒保護者 (小1～中3)	市内小中学校に通う小学1年生 から中学3年生の保護者全員 (各世帯1回ずつ回答)	悉皆	配付：メールシステム による依頼文の配付 回収：WEB 回答
⑤	小・中・高等 学校教員	市内小中学校、川口市立高等学 校に勤務する教員全員	悉皆	配付：学校端末を通じ た依頼文の配付 回収：WEB 回答

◇回答状況及び標本誤差の状況：

	調査区分	回答件数	対象者数 (参考)	回答率 (参考)	集団母数 (参考)	最大 標本誤差
①	児童生徒本人 (小4～中3)	17,357 件	28,182 人※1	61.6%	28,182 人	±0.5%
②	市立高校生本人 (高1～高3)	716 件	1,307 人※1	54.8%	1,307 人	±2.5%
③	幼児保護者 (4～6歳)	577 件	2,000 人	28.9%	12,756 人※3	±4.0%
④	児童生徒保護者 (小1～中3)	11,203 件	30,251 人※2	37.0%	30,251 人	±0.7%
⑤	小・中・高等学 校教員	1,490 件	2,493 人※1	59.8%	2,493 人	±1.6%

※1 令和7年5月1日時点の人数

※2 1家庭で複数アカウントを登録しているため参考値

※3 幼児保護者の母数は、該当年代（4～6歳児）の住民基本台帳人口としている

◎本調査は、一部悉皆調査で行っているものの、全員からの回答が得られていないため、回答結果において標本誤差を考慮する必要があります。本調査は、母集団比率の推定において、信頼度を95%として信頼区間を設定（同一の調査を100回行えば95回まではこの結果になるであろうという推定）し、標本誤差を算出しています。この場合、最大標本誤差が±5%に収まれば調査結果として問題ない数値であるとされています。

各種調査結果概要

※回答者の属性にかかわる結果は省略

(1) 児童生徒本人調査結果

問1 あなたは何年生ですか (単数回答)

問2 あなたが通う学校をこたえてください (単数回答)

●次のことについてうかがいます (問3～問11)

問3 学校に行くのは楽しいと思う (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	50.3%
どちらかといえば当てはまる	37.7%
どちらかといえば当てはまらない	8.2%
当てはまらない	3.6%
不明・無回答	0.3%

問4 友達関係に満足している (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	62.3%
どちらかといえば当てはまる	30.6%
どちらかといえば当てはまらない	5.2%
当てはまらない	1.6%
不明・無回答	0.3%

問5 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	37.3%
どちらかといえば当てはまる	39.4%
どちらかといえば当てはまらない	15.9%
当てはまらない	7.1%
不明・無回答	0.3%

問6 自分には、よいところがあると思う (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	42.1%
どちらかといえば当てはまる	41.1%
どちらかといえば当てはまらない	10.7%
当てはまらない	5.9%
不明・無回答	0.3%

問7 学校以外でスポーツ・レクリエーションをどのくらいしていますか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
週に1回以上	60.2%
月に1～3回程度	20.2%
年に数回程度	8.3%
全くしていない	10.8%
不明・無回答	0.4%

問8 本市のスポーツに関する情報

(オリンピックやパラリンピックに本市ゆかりの選手が出場することや、スポーツイベントの情報など) に関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
関心はある	23.1%
少し関心はある	31.6%
あまり関心はない	25.3%
関心はない	19.7%
不明・無回答	0.3%

問9 「子どもの権利」について知っていますか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
内容を知っている	23.5%
内容は知らないが、聞いたことはある	40.4%
知らない (はじめて聞いた)	35.6%
不明・無回答	0.4%

問10 さまざまな国の友だちと話し、一緒に遊んだりしていますか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
よくしている	21.8%
時々している	28.9%
あまりしていない	22.4%
まったくしていない	6.0%
そういう友だちがいない	20.6%
不明・無回答	0.3%

問11 さまざまな国の友だちとの交流は楽しいと感じますか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
そう思う	39.1%
ややそう思う	40.8%
あまりそう思わない	12.8%
そう思わない	6.8%
不明・無回答	0.6%

●勉強のことについて、あなたにどれくらい当てはまりますか (問12～問21)

問12 読書が好き (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	29.3%
どちらかといえば当てはまる	31.0%
どちらかといえば当てはまらない	21.9%
当てはまらない	17.6%
不明・無回答	0.2%

問13 国語の授業の内容はよく分かる (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	36.7%
どちらかといえば当てはまる	48.3%
どちらかといえば当てはまらない	11.2%
当てはまらない	3.4%
不明・無回答	0.3%

問14 算数・数学の授業の内容はよく分かる (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	42.2%
どちらかといえば当てはまる	37.5%
どちらかといえば当てはまらない	14.0%
当てはまらない	5.9%
不明・無回答	0.3%

問15 理科の授業の内容はよく分かる (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	46.5%
どちらかといえば当てはまる	39.7%
どちらかといえば当てはまらない	10.5%
当てはまらない	3.0%
不明・無回答	0.4%

問16 社会の授業の内容はよく分かる (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	47.6%
どちらかといえば当てはまる	37.9%
どちらかといえば当てはまらない	11.0%
当てはまらない	3.1%
不明・無回答	0.4%

問17 英語の授業の内容はよく分かる (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	39.8%
どちらかといえば当てはまる	37.6%
どちらかといえば当てはまらない	15.4%
当てはまらない	7.0%
不明・無回答	0.3%

問18 体育の授業は好き (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	60.2%
どちらかといえば当てはまる	23.3%
どちらかといえば当てはまらない	9.7%
当てはまらない	6.5%
不明・無回答	0.2%

問19 音楽の授業は好き (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	51.7%
どちらかといえば当てはまる	31.6%
どちらかといえば当てはまらない	10.5%
当てはまらない	6.0%
不明・無回答	0.2%

問20 道徳の授業は好き (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	39.4%
どちらかといえば当てはまる	39.0%
どちらかといえば当てはまらない	14.9%
当てはまらない	6.5%
不明・無回答	0.3%

問21 総合的な学習の時間は好き (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
当てはまる	54.5%
どちらかといえば当てはまる	33.7%
どちらかといえば当てはまらない	8.3%
当てはまらない	3.2%
不明・無回答	0.2%

●あなたは、中学校に進学するときに不安を感じますか (感じましたか) (問22～問24)

問22 授業についていけるか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
とても不安に思う (思った)	16.1%
少し不安に思う (思った)	40.0%
あまり不安はない (なかった)	26.0%
不安はない (なかった)	17.7%
不明・無回答	0.2%

問23 友だちができるか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
とても不安に思う (思った)	14.9%
少し不安に思う (思った)	24.4%
あまり不安はない (なかった)	25.6%
不安はない (なかった)	34.7%
不明・無回答	0.3%

問24 新しい環境になじめるか (単数回答)

カテゴリ	17,357 人
とても不安に思う (思った)	18.5%
少し不安に思う (思った)	31.1%
あまり不安はない (なかった)	25.2%
不安はない (なかった)	24.9%
不明・無回答	0.3%

●中学校に安心して進学するために、小学校でどのような機会があると思いますか（思いましたか）（問25～問27）

問25 中学校の授業や部活動の様子などを見学できる機会（単数回答）

カテゴリ	17,357人
あると良い	81.6%
なくて良い	7.4%
わからない	10.6%
不明・無回答	0.3%

問26 中学校の先生から話を聞いた、勉強を教えてもらうような機会（単数回答）

カテゴリ	17,357人
あると良い	67.2%
なくて良い	15.0%
わからない	17.5%
不明・無回答	0.4%

問27 中学校の先輩から学校生活の様子を聞いたり、一緒に活動するような機会（単数回答）

カテゴリ	17,357人
あると良い	73.8%
なくて良い	11.9%
わからない	13.9%
不明・無回答	0.4%

（2）市立高校生本人調査結果

問1 あなたは何年生ですか（単数回答）

●次のことについてうかがいます（問2～問11）

問2 学校に行くのは楽しいと思う（単数回答）

カテゴリ	716人
当てはまる	43.6%
どちらかといえば当てはまる	45.1%
どちらかといえば当てはまらない	8.2%
当てはまらない	2.9%
不明・無回答	0.1%

問3 友達関係に満足している（単数回答）

カテゴリ	716人
当てはまる	53.1%
どちらかといえば当てはまる	38.7%
どちらかといえば当てはまらない	6.0%
当てはまらない	2.1%
不明・無回答	0.1%

問4 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる（単数回答）

カテゴリ	716人
当てはまる	33.4%
どちらかといえば当てはまる	44.7%
どちらかといえば当てはまらない	16.3%
当てはまらない	5.4%
不明・無回答	0.1%

問5 自分には、よいところがあると思う（単数回答）

カテゴリ	716人
当てはまる	43.3%
どちらかといえば当てはまる	44.4%
どちらかといえば当てはまらない	7.7%
当てはまらない	4.3%
不明・無回答	0.3%

問6 学校以外でスポーツ・レクリエーションをどのくらいしていますか（単数回答）

カテゴリ	716人
週に1回以上	39.9%
月に1～3回程度	23.7%
年に数回程度	17.2%
全くしていない	17.7%
不明・無回答	1.4%

資料

問7 本市のスポーツに関する情報

(オリンピックやパラリンピックに本市ゆかりの選手が出場することや、スポーツイベントの情報など) に関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	716 人
関心はある	14.1%
少し関心はある	28.9%
あまり関心はない	26.7%
関心はない	28.9%
不明・無回答	1.4%

問8 本市スポーツ・レクリエーション団体

(スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会など) に参加し、活動することに関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	716 人
関心はある	8.2%
少し関心はある	20.3%
あまり関心はない	34.9%
関心はない	36.3%
不明・無回答	0.3%

問9 「子どもの権利」について知っていますか (単数回答)

カテゴリ	716 人
内容を知っている	37.6%
内容は知らないが、聞いたことはある	51.1%
知らない (はじめて聞いた)	10.9%
不明・無回答	0.4%

問10 さまざまな国の友だちと話し、一緒に遊んだりしていますか (単数回答)

カテゴリ	716 人
よくしている	9.8%
時々している	14.8%
あまりしていない	21.4%
全くしていない	8.2%
そういう友だちがいない	45.8%
不明・無回答	0.0%

問11 さまざまな国の友だちとの交流は楽しいと感じますか (単数回答)

カテゴリ	716 人
そう思う	30.3%
ややそう思う	46.6%
あまりそう思わない	13.8%
そう思わない	8.9%
不明・無回答	0.3%

●高校のことについてうかがいます (問12～問13)

問12 高校生活をとおして、どのような力を身につけたいと思いますか (複数回答: 3つまで)

カテゴリ	716 人
主体的に学び続ける力	44.3%
色々なことに果敢にチャレンジする力	46.2%
新しいアイデアを考える創造力	27.8%
希望する職業に必要な知識や技能	46.1%
情報化、国際化等の社会の変化に対応できる力	12.2%
自ら考え、判断し、問題を解決する力	47.6%
多様な他者と連携・協働する力	24.6%
地域や社会の課題解決に貢献できる力	4.2%
特になし	3.5%
不明・無回答	0.3%

問13 高校における学びについて、どのようなことがより充実したら良いと思いますか (複数回答: 3つまで)

カテゴリ	716 人
実社会での活動に向けて、学んだ知識を総合的に活用し考える学びの充実	38.4%
基礎・基本を確実に身につけるための学びの充実	39.1%
理数教育に関する学びの充実	14.1%
外国語教育に関する学びの充実	25.4%
スポーツの知識や技術、体の健康など保健体育に関する学びの充実	20.0%
音楽、美術、書道などの芸術分野における知識や技術に関する学びの充実	15.1%
プログラミングやネットワークについての知識や技術など情報技術の活用に関する学びの充実	17.3%
世界での活躍も視野に外国語で学んだり、国内外の文化や国際理解に関する学びの充実	17.0%
学校と企業や市町村などが連携して、身近な地域の活性化などに実践的に取り組む学びの充実	6.3%
産業構造の変化や技術革新に対応した知識や技術に関する学びの充実	4.7%
帰国生徒や外国人生徒が日本で力を発揮できるようにする学びの充実	2.1%
オンラインや ICT 機器を積極的に活用した学びの充実	11.7%
将来役立つ資格取得に向けた学びの充実	33.0%
特になし	4.2%
不明・無回答	0.7%

(3) 幼児保護者調査結果

問1 あなたの年齢 (単数回答)

問2 お子さんの通園・通所の状況 (複数回答)

問3 お住まいの地区はどちらですか (単数回答)

●ご家庭での子育てについてお答えください (問4～問13)

問4 お子さんについて早寝早起きをして、朝ごはんを食べさせるようにしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	71.4%
まあ心掛けている	26.0%
あまり心掛けていない	2.4%
心掛けていない	0.0%
不明・無回答	0.2%

問5 戸外での遊びを子どもと一緒に楽しむようにしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	44.9%
まあ心掛けている	43.8%
あまり心掛けていない	10.7%
心掛けていない	0.3%
不明・無回答	0.2%

問6 できない部分は手を貸して、できるところはほめて励ましている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	53.6%
まあ心掛けている	44.7%
あまり心掛けていない	1.4%
心掛けていない	0.2%
不明・無回答	0.2%

問7 物の置き場や片付け方を決めている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	42.6%
まあ心掛けている	47.7%
あまり心掛けていない	8.5%
心掛けていない	1.0%
不明・無回答	0.2%

問8 子どもの目を見て話を聞くようにしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	49.9%
まあ心掛けている	44.7%
あまり心掛けていない	5.2%
心掛けていない	0.0%
不明・無回答	0.2%

問9 毎日できるお手伝いをさせるようにしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	22.2%
まあ心掛けている	42.8%
あまり心掛けていない	30.5%
心掛けていない	4.3%
不明・無回答	0.2%

問10 良いこと、悪いことを示すようにしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	73.0%
まあ心掛けている	25.1%
あまり心掛けていない	1.7%
心掛けていない	0.0%
不明・無回答	0.2%

問11 まわりの大人があいさつの手本になるようにしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	68.5%
まあ心掛けている	28.4%
あまり心掛けていない	2.8%
心掛けていない	0.2%
不明・無回答	0.2%

問12 子どもの「なぜ？」と一緒に考えている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	45.6%
まあ心掛けている	48.7%
あまり心掛けていない	5.0%
心掛けていない	0.3%
不明・無回答	0.3%

問13 文字や数などに触れる場面を大切にしている (単数回答)

カテゴリ	577人
心掛けている	55.6%
まあ心掛けている	36.4%
あまり心掛けていない	7.6%
心掛けていない	0.2%
不明・無回答	0.2%

●次のことについて知っていますか (問14～問15)

問14 「子どもの権利」について知っていますか (単数回答)

カテゴリ	577人
内容を知っている	31.9%
内容は知らないが、聞いたことはある	44.2%
知らない (はじめて聞いた)	23.7%
不明・無回答	0.2%

問15 あなたは、市と県で進めている
子育ての目安である「3つのめばえ」
について知っていますか (単数回答)

カテゴリ	577人
内容を知っている	6.4%
内容は知らないが、聞いたことはある	20.5%
知らない (はじめて聞いた)	72.6%
不明・無回答	0.5%

●お子さんが小学校に進学する際、不安はありますか (問16～問19)

問16 授業についていけるか (単数回答)

カテゴリ	577人
とても不安に思う	17.0%
少し不安に思う	45.9%
あまり不安はない	27.4%
不安はない	9.5%
不明・無回答	0.2%

問17 友だちができるか (単数回答)

カテゴリ	577人
とても不安に思う	15.6%
少し不安に思う	39.2%
あまり不安はない	32.4%
不安はない	12.7%
不明・無回答	0.2%

問18 新しい環境になじめるか (単数回答)

カテゴリ	577人
とても不安に思う	22.7%
少し不安に思う	45.4%
あまり不安はない	24.1%
不安はない	7.6%
不明・無回答	0.2%

問19 集団での生活や行動ができるか (単数回答)

カテゴリ	577人
とても不安に思う	17.0%
少し不安に思う	34.3%
あまり不安はない	33.3%
不安はない	15.3%
不明・無回答	0.2%

●お子さんが小学校に安心して入学するためにどのような機会があると良いと思いますか (問20～問22)

問20 子どもが学校の授業や行事を見学したり、授業を体験する機会 (単数回答)

カテゴリ	577人
あると良い	84.4%
なくて良い	8.7%
わからない	6.8%
不明・無回答	0.2%

問21 子どもが小学校の先生と話をしたり、遊んでもらえるような機会 (単数回答)

カテゴリ	577人
あると良い	74.9%
なくて良い	16.5%
わからない	8.5%
不明・無回答	0.2%

問22 子どもが小学生と話をしたり、遊んでもらえるような機会 (単数回答)

カテゴリ	577人
あると良い	80.2%
なくて良い	13.5%
わからない	6.1%
不明・無回答	0.2%

●あなた自身は次のことに関心や興味はありますか (問23～問30)

問23 本を読むことは好きですか (単数回答)

カテゴリ	577人
大いに好き	27.6%
多少好き	47.5%
あまり好きではない	22.2%
全く好きではない	2.6%
不明・無回答	0.2%

問24 知識を広げたり、経験や技能を高めたりする生涯学習活動に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	577人
関心・興味はある	49.4%
少し関心・興味はある	41.6%
あまり関心・興味はない	7.8%
関心・興味はない	1.0%
不明・無回答	0.2%

問25 芸術活動全般に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	577人
関心・興味はある	33.4%
少し関心・興味はある	37.1%
あまり関心・興味はない	23.6%
関心・興味はない	5.7%
不明・無回答	0.2%

問26 文化財保護や地域に根付く伝統的文化の保存・継承に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	577人
関心・興味はある	18.2%
少し関心・興味はある	37.1%
あまり関心・興味はない	36.2%
関心・興味はない	8.3%
不明・無回答	0.2%

問27 川口市人材バンク「魅学(みがく)」に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	577 人
関心・興味はある	8.1%
少し関心・興味はある	29.8%
あまり関心・興味はない	41.9%
関心・興味はない	19.9%
不明・無回答	0.2%

問28 スポーツ・レクリエーションをどのくらいしていますか (単数回答)

カテゴリ	577 人
週に1回以上	38.1%
月に1～3回程度	21.1%
年に数回程度	17.0%
全くしていない	23.6%
不明・無回答	0.2%

問29 本市のスポーツに関する情報（オリンピックやパラリンピックに本市ゆかりの選手が出場することや、スポーツイベントの情報など）に関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	577 人
関心はある	11.8%
少し関心はある	35.0%
あまり関心はない	35.2%
関心はない	17.7%
不明・無回答	0.3%

問30 本市スポーツ・レクリエーション団体（スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会など）に参加し、活動することに関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	577 人
関心はある	10.7%
少し関心はある	31.9%
あまり関心はない	38.1%
関心はない	18.9%
不明・無回答	0.3%

(4) 児童生徒保護者調査結果

問1 あなたの年齢（令和7年9月1日現在） (単数回答)

問2 市立小・中学校に通うお子さんの学年をお答えください (複数回答)

問3 お子さんが通う学校をお答えください (複数回答)

●お子さんが通っている小・中学校についてお答えください（問4～問9）

問4 ア 小学校の教育活動に満足していますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
満足している	18.8%
まあ満足している	49.1%
あまり満足していない	8.5%
満足していない	2.3%
わからない	2.0%
小学生の子どもはいない	17.1%
不明・無回答	2.3%

問4 イ 中学校の教育活動に満足していますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
満足している	8.3%
まあ満足している	25.5%
あまり満足していない	6.3%
満足していない	1.8%
わからない	2.3%
中学生の子どもはいない	32.6%
不明・無回答	23.2%

問5 ア 小学校の先生は子どものことをよくわかってくれる (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	20.8%
やや思う	45.7%
あまり思わない	9.3%
思わない	1.9%
わからない	2.8%
小学生の子どもはいない	17.6%
不明・無回答	2.0%

問5 イ 中学校の先生は子どものことをよくわかってくれる (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	8.2%
やや思う	23.9%
あまり思わない	7.0%
思わない	1.6%
わからない	3.4%
中学生の子どもはいない	33.2%
不明・無回答	22.6%

問6ア 小学校の先生は子どもをきちんと指導してくれる (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	23.5%
やや思う	44.0%
あまり思わない	8.1%
思わない	1.8%
わからない	2.7%
小学生の子どもはいない	17.5%
不明・無回答	2.3%

問6イ 中学校の先生は子どもをきちんと指導してくれる (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	9.1%
やや思う	23.8%
あまり思わない	6.2%
思わない	1.4%
わからない	3.5%
中学生の子どもはいない	33.4%
不明・無回答	22.6%

問7ア 小学校の先生は子どものことを相談しやすい (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	22.6%
やや思う	37.3%
あまり思わない	13.3%
思わない	3.7%
わからない	3.1%
小学生の子どもはいない	17.7%
不明・無回答	2.3%

問7イ 中学校の先生は子どものことを相談しやすい (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	8.2%
やや思う	19.1%
あまり思わない	10.1%
思わない	2.9%
わからない	3.7%
中学生の子どもはいない	33.5%
不明・無回答	22.4%

問8ア 小学校からの情報提供はできている (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	19.9%
やや思う	44.8%
あまり思わない	10.9%
思わない	2.1%
わからない	2.1%
小学生の子どもはいない	17.6%
不明・無回答	2.4%

問8イ 中学校からの情報提供はできている (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	8.1%
やや思う	23.4%
あまり思わない	8.7%
思わない	1.8%
わからない	2.1%
中学生の子どもはいない	33.5%
不明・無回答	22.4%

問9ア 小学校・地域・保護者との協力・連携はできている (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	12.9%
やや思う	42.4%
あまり思わない	15.6%
思わない	3.1%
わからない	5.9%
小学生の子どもはいない	17.8%
不明・無回答	2.2%

問9イ 中学校・地域・保護者との協力・連携はできている (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
とても思う	4.7%
やや思う	20.8%
あまり思わない	11.0%
思わない	1.9%
わからない	5.8%
中学生の子どもはいない	33.6%
不明・無回答	22.2%

●次のことについて知っていますか (問10～問12)

問10 「子どもの権利」について知っていますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
内容を知っている	34.2%
内容は知らないが、聞いたことはある	44.4%
知らない (はじめて聞いた)	21.0%
不明・無回答	0.3%

問11 あなたは、市と県で進めている子育ての目安である「3つのめばえ」について知っていますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
内容を知っている	11.4%
内容は知らないが、聞いたことはある	30.0%
知らない (はじめて聞いた)	58.1%
不明・無回答	0.5%

問12 お子さんの問題について悩んだときの相談先について知っていますか

【子ども教育相談】 (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
知っている・相談したことがある	21.5%
聞いたことはあるが、相談したことはない	68.7%
知らない（はじめて聞いた）	9.4%
不明・無回答	0.3%

【いじめ相談テレフォン】 (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
知っている・相談したことがある	8.8%
聞いたことはあるが、相談したことはない	82.1%
知らない（はじめて聞いた）	8.1%
不明・無回答	0.9%

●あなた自身は次のことに関心や興味はありますか (問13～問21)

問13 本を読むことは好きですか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
大いに好き	25.2%
多少好き	47.1%
あまり好きではない	24.0%
全く好きではない	3.6%
不明・無回答	0.1%

問14 知識を広げたり、経験や技能を高めたりする生涯学習活動に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
関心・興味はある	43.5%
少し関心・興味はある	45.2%
あまり関心・興味はない	10.1%
関心・興味はない	1.0%
不明・無回答	0.2%

問15 芸術活動全般に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
関心・興味はある	34.8%
少し関心・興味はある	40.3%
あまり関心・興味はない	21.1%
関心・興味はない	3.6%
不明・無回答	0.2%

問16 文化財保護や地域に根付く伝統的文化の保存・継承に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
関心・興味はある	20.5%
少し関心・興味はある	43.7%
あまり関心・興味はない	30.9%
関心・興味はない	4.6%
不明・無回答	0.2%

問17 川口市人材バンク「魅学(みがく)」に関心や興味はありますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
関心・興味はある	8.1%
少し関心・興味はある	34.2%
あまり関心・興味はない	47.1%
関心・興味はない	10.4%
不明・無回答	0.2%

問18 スポーツ・レクリエーションをどのくらいしていますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
週に1回以上	24.3%
月に1～3回程度	16.5%
年に数回程度	25.0%
全くしていない	33.9%
不明・無回答	0.2%

問19 本市のスポーツに関する情報（オリンピックやパラリンピックに本市ゆかりの選手が出場することや、スポーツイベントの情報など）に関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
関心はある	15.3%
少し関心はある	38.6%
あまり関心はない	32.9%
関心はない	13.0%
不明・無回答	0.2%

問20 本市スポーツ・レクリエーション団体（スポーツ少年団、レクリエーション協会、スポーツ推進委員協議会など）に参加し、活動することに関心はありますか (単数回答)

カテゴリ	11,203 人
関心はある	10.8%
少し関心はある	28.1%
あまり関心はない	41.1%
関心はない	19.6%
不明・無回答	0.3%

資料

問21 地域の活動に参加していますか (複数回答)

カテゴリ	11,203 人
PTA	33.4%
町会	31.6%
子ども会	14.4%
川口市スポーツ少年団	8.1%
学校応援団	4.0%
おやじの会	1.8%
その他の活動	6.3%
参加したいが、参加できる状況ではない	17.3%
参加していない (参加する気持ちはない)	20.7%
不明・無回答	0.6%

(5) 小・中・高等学校教員調査結果

問1 現在の勤務先 (単数回答)

問2 現在の職名 (単数回答)

問3 通算の教員経験年数 (単数回答)

●勤務先の学校の職場環境についてうかがいます

(問4～問9)

問4 チームワークを発揮している (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
当てはまる	33.7%
どちらかといえば当てはまる	59.2%
どちらかといえば当てはまらない	5.6%
当てはまらない	1.3%
不明・無回答	0.1%

問5 中堅層・管理職層がリーダーシップを発揮している (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
当てはまる	38.3%
どちらかといえば当てはまる	52.3%
どちらかといえば当てはまらない	7.6%
当てはまらない	1.6%
不明・無回答	0.1%

問6 教員同士が互いに教えあったり助け合ったりしている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
当てはまる	48.9%
どちらかといえば当てはまる	45.0%
どちらかといえば当てはまらない	5.2%
当てはまらない	0.7%
不明・無回答	0.3%

問7 教員同士で仕事や仕事以外のことでコミュニケーションをとっている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
当てはまる	43.8%
どちらかといえば当てはまる	47.7%
どちらかといえば当てはまらない	7.0%
当てはまらない	1.1%
不明・無回答	0.3%

問8 経験年数の長い教員が短い教員からの提案や意見に耳を傾けている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
当てはまる	38.7%
どちらかといえば当てはまる	53.2%
どちらかといえば当てはまらない	6.5%
当てはまらない	1.3%
不明・無回答	0.3%

問9 教員が一丸となって指導力の改善を図ろうとしている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
当てはまる	32.6%
どちらかといえば当てはまる	55.0%
どちらかといえば当てはまらない	10.6%
当てはまらない	1.7%
不明・無回答	0.2%

●次のことについてあなたはどのように思いますか (問10～問14)

問10 日常的になっている長時間勤務や休日出勤を改善したい (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	66.4%
どちらかといえば思う	25.3%
どちらかといえば思わない	4.3%
思わない (今のままでよい)	3.8%
不明・無回答	0.2%

問11 教科指導に必要な知識・技術の習得等の自己啓発を行う時間的な余裕が欲しい (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	71.4%
どちらかといえば思う	24.8%
どちらかといえば思わない	2.2%
思わない (今のままでよい)	1.3%
不明・無回答	0.2%

問12 教材研究を行う時間的な余裕が欲しい (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	76.3%
どちらかといえば思う	19.8%
どちらかといえば思わない	2.1%
思わない (今のままでよい)	1.6%
不明・無回答	0.2%

問13 児童生徒からの話を傾聴する十分な時間をとりたい (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	71.7%
どちらかといえば思う	24.1%
どちらかといえば思わない	1.8%
思わない (今のままでよい)	2.1%
不明・無回答	0.2%

問14 保護者との関わりや地域との連携を行う十分な時間をとりたい (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	30.8%
どちらかといえば思う	44.5%
どちらかといえば思わない	14.6%
思わない (今のままでよい)	9.9%
不明・無回答	0.2%

●勤務先の学校の教育についてあなたはどのように思いますか (問15～問35)

問15 児童生徒一人ひとりを確実に伸ばす教育ができている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	9.1%
どちらかといえば思う	62.4%
どちらかといえば思わない	24.4%
思わない (今のままでよい)	3.8%
不明・無回答	0.3%

問16 児童生徒に新しい時代に求められる資質・能力の育成ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	8.3%
どちらかといえば思う	60.8%
どちらかといえば思わない	27.1%
思わない (今のままでよい)	3.6%
不明・無回答	0.3%

問17 グローバル化に対応する教育ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	8.3%
どちらかといえば思う	44.2%
どちらかといえば思わない	40.3%
思わない (今のままでよい)	7.0%
不明・無回答	0.3%

問18 技術革新や時代の変化に対応する教育ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	6.9%
どちらかといえば思う	53.3%
どちらかといえば思わない	33.5%
思わない (今のままでよい)	6.0%
不明・無回答	0.3%

問19 児童生徒に主体的に社会の形成に参画する力の育成ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	7.5%
どちらかといえば思う	54.6%
どちらかといえば思わない	33.2%
思わない (今のままでよい)	4.4%
不明・無回答	0.4%

問 20 配慮を要する児童生徒への適切な支援ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	15.2%
どちらかといえば思う	59.1%
どちらかといえば思わない	20.3%
思わない (今のままでよい)	5.1%
不明・無回答	0.3%

問 21 日本語指導や学力に課題のある児童生徒への適切な支援ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	13.1%
どちらかといえば思う	51.3%
どちらかといえば思わない	27.1%
思わない (今のままでよい)	8.3%
不明・無回答	0.3%

問 22 児童生徒の豊かな心を育む教育ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	15.1%
どちらかといえば思う	69.7%
どちらかといえば思わない	13.0%
思わない (今のままでよい)	2.0%
不明・無回答	0.3%

問 23 生徒指導体制が整っている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	20.9%
どちらかといえば思う	62.3%
どちらかといえば思わない	14.0%
思わない (今のままでよい)	2.3%
不明・無回答	0.4%

問 24 児童生徒の人権を尊重した教育ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	25.4%
どちらかといえば思う	67.5%
どちらかといえば思わない	5.7%
思わない (今のままでよい)	1.0%
不明・無回答	0.3%

問 25 児童生徒の健やかな体の育成に向けた健康の保持・増進の取組ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	21.0%
どちらかといえば思う	68.1%
どちらかといえば思わない	9.0%
思わない (今のままでよい)	1.5%
不明・無回答	0.4%

問 26 児童生徒の体力向上と学校体育活動の取組ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	21.1%
どちらかといえば思う	63.3%
どちらかといえば思わない	13.1%
思わない (今のままでよい)	2.1%
不明・無回答	0.4%

問 27 特色ある学校づくりが進んでいます (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	16.6%
どちらかといえば思う	57.2%
どちらかといえば思わない	22.5%
思わない (今のままでよい)	3.4%
不明・無回答	0.3%

問 28 教員の資質能力の向上を支援する取組ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	13.1%
どちらかといえば思う	57.4%
どちらかといえば思わない	24.5%
思わない (今のままでよい)	4.8%
不明・無回答	0.3%

問 29 学校組織運営の改善と働きがいのある職場づくりが進んでいる (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	16.3%
どちらかといえば思う	57.9%
どちらかといえば思わない	20.6%
思わない (今のままでよい)	5.0%
不明・無回答	0.3%

問 30 子どもたちの安心・安全の確保ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	26.6%
どちらかといえば思う	64.0%
どちらかといえば思わない	7.4%
思わない (今のままでよい)	1.7%
不明・無回答	0.3%

問 31 いじめ防止対策の取組ができています (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	29.3%
どちらかといえば思う	64.6%
どちらかといえば思わない	5.1%
思わない (今のままでよい)	0.7%
不明・無回答	0.3%

**問 32 不登校児童生徒への支援ができて
きている** (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	23.7%
どちらかといえば思う	60.1%
どちらかといえば思わない	13.4%
思わない (今のままでよい)	2.6%
不明・無回答	0.3%

問 33 教育相談体制が整っている (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	30.4%
どちらかといえば思う	59.8%
どちらかといえば思わない	7.9%
思わない (今のままでよい)	1.7%
不明・無回答	0.3%

**問 34 学校・家庭・地域が一体とな
った教育体制が整っている** (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	11.9%
どちらかといえば思う	59.2%
どちらかといえば思わない	24.2%
思わない (今のままでよい)	4.3%
不明・無回答	0.4%

**問 35 地域の教育的資源の活用が進
んでいる** (単数回答)

カテゴリ	1,490 人
そう思う	10.1%
どちらかといえば思う	49.6%
どちらかといえば思わない	33.1%
思わない (今のままでよい)	7.0%
不明・無回答	0.3%

教育振興基本計画策定の経緯

	年 月 日	議 事 等
令和7年度	令和7年 9月11日	令和7年第12回教育委員会定例会 協議事項：川口市教育大綱・教育振興基本計画（案）について
	9月17日～ 10月6日	市内小中学校児童生徒、市立高等学校生徒、保護者、教職員へのアンケート実施
	10月21日	第1回川口市総合教育会議 議事：川口市教育大綱の改定について （教育振興基本計画は概要の協議）
	10月24日	令和7年第13回教育委員会定例会 報告事項：川口市教育大綱・川口市教育振興基本計画策定に向けたアンケート結果について 協議事項：川口市教育大綱素案・川口市教育振興基本計画素案及びパブリックコメントの実施について
	11月10日～ 12月10日	パブリックコメントの実施
	令和8年 1月23日	令和8年第1回教育委員会定例会 報告事項：川口市教育大綱（案）・川口市教育振興基本計画（案）のパブリックコメント結果について
	3月18日	令和8年第5回教育委員会定例会（予定） 協議事項：川口市教育大綱（案）・川口市教育振興基本計画（案）について
	3月26日	第2回川口市総合教育会議（予定） 議事：川口市教育大綱（案）について
令和8年度	令和8年 4月1日	令和8年第6回教育委員会定例会（予定） 議案審議：川口市教育振興基本計画の策定について

※教育振興基本計画に関する事項のみ記載

用語集

あ行

アーティスト登録制度

川口市に在住、在勤又は出身等、ゆかりのある個人又は団体の音楽アーティストを発掘し、その活動内容を紹介することで活動の場や文化芸術に親しむ機会の拡充を図ることを目的としたもの。

ICT

Information and Communication Technology の略称。情報通信技術。情報や通信にかかる技術の総称。特に情報通信によるコミュニケーションの重要性を強調するため、IT と区別して使われることが多い。

アイデンティティ

「自分が何者なのか」という感覚や自己認識、そしてそれが他者や社会とかかわる中で形作られる「自分らしさ」のこと。自己同一性と訳されることが多い。

アクティブラーニング

教員による一方的な講義形式の教育とは異なり、学習者の能動的な学習への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学習者が能動的に学習することによって、認知的、論理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。

いじめゼロサミット

川口市立小・中学校代表児童生徒が集まり、いじめの問題について考え、いじめ根絶に向けての意見交換等を行う会議。いじめ問題の取り組みの中核となるリーダーを育成するとともに、多様な取り組みの実施を一層推進する、川口市いじめ問題対策協議会主催の取り組み。

いじめ相談テレフォン

いじめで悩んでいる市立小学校・中学校・高等学校に在籍の児童生徒及び、その保護者の相談に対応する電話窓口。

いじめ相談メール

いじめで悩んでいる市立小学校・中学校・高等学校に在籍の児童生徒及び、その保護者の相談に対応するメール窓口。

いじめ対応教員

「川口市いじめを防止するためのまちづくり推進条例」により、平成 29 年から設置された川口市独自の校務分掌。各学校でのいじめへの対応をはじめ、こども関係団体との連携や「川口市いじめから子どもを守る委員会」との連携等、いじめの撲滅について、中心的役割を担っていく教員。

いじめ予防ピンクピンバッジ

川口市いじめ問題対策協議会の取り組み。6 月・9 月・11 月・2 月の年 4 か月を中心に「いじめ予防強化月間」として、市内各校の児童会・生徒会が中心となって、いじめ撲滅のため着用する象徴バッジ。カナダ発祥の「ピンクシャツデー」をモデルとした、ピンクシャツ型のピンバッジ。

医療的ケア児

医学の進歩を背景として、NICU（新生児特定集中治療室）等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと。

インクルーシブ教育システム

障害の有無にかかわらず、すべてのこどもが共に学び、個別の教育的ニーズに応じた的確な支援を受けられる多様で柔軟な仕組み。

インターンシップ

就労経験を積むために、学生等が企業や組織において労働に従事すること。

AI

Artificial Intelligence の略称。人工知能。人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した、当該機能の活用に関する技術のこと。

SNS

Social Networking Service の略称。Web 上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスのこと。

SDGs（持続可能な開発目標）

Sustainable Development Goals の略称。「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標（持続可能な開発目標）のこと。2015 年の国連サミットにおいてすべての加盟国が合意した「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の中で掲げられ、2030 年を達成年限とし、17 のゴールと 169 のターゲットから構成されている。

SDGs の 17 のゴール



「親の学習」プログラム

家庭の教育力の向上をめざして行われる学習。中学生・高校生対象の「親になるための学習」と親対象の「親が親として育ち、力をつけるための学習」がある。

か行

科学技術創造立国

科学技術・技術革新を積極的に推進し、知的財産の創造・活用を促進することによって、国の発展を図ろうとする考え方。

学習指導要領

文部科学省が定める、各学校で教育課程（カリキュラム）を編成する際の基準のこと。全国のどの地域で教育を受けても一定の水準の教育を受けられるよう、各教科などの目標や大まかな教育内容を定めるものであり、昭和 33 年以降、ほぼ 10 年ごとに改訂されている。

課題研究

各教科等の課題研究員（以下「研究員」という）を任命し、研究員は、本市の実態に応じ、授業改善を主とした教育課題の追究、解明及び深化を図ることで、研究員自身の研鑽に努めるとともに、本市学校教育の一層の充実振興を推進する。

学級がうまく機能しない状況

集団での教育活動ができない状況が一定期間継続し、通常の手法では問題解決ができない状態に至っている場合のこと。

学級崩壊

集団での教育活動ができない状況が一定期間継続し、集団教育という学級の機能が成立しない状態のこと。

学校安全ボランティア活動

保護者や自治会、老人会などの地域に住むさまざまな大人が児童生徒の安全を願って学校と連携しながら、見守り活動をしていただく取り組み。

学校応援団

「学校・家庭・地域が連携した子育てを推進する」という趣旨のもと、学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備等についてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民等による活動組織。

カリキュラム・マネジメント

①各学校において、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、教育の目的や目標の実現に必要な教育内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと。②各学校が教育課程（カリキュラム）の実施状況を評価し、その改善を図っていくこと。③各学校において教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともに、その改善を図っていくことなどを通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと。

川口Sネクスト

川口市立小学校第5学年児童を対象に、数学的な見方・考え方を働かせて解く問題を中心にCBTで実施している。年に2回実施することで、同一年度内に結果を比較することができる。児童は学習内容の定着度を実感できるようになり、教師は自身の指導の工夫改善が適切であったかを自覚できるようになる。

川口国語チャレンジ

川口市の児童生徒の国語に対する関心を高めるとともに、日常生活や社会生活で生きてはたらく知識及び技能、並びに思考力、判断力、表現力等の習得の一助とする。小学校3年生以降の学年については、MEXCBTによる実施とし、CBTへ慣れることの一助とする。

川口市学力向上推進プラン

川口市の学力向上について、該当年度の方針や重点取り組みについてまとめたもの。指導課学校訪問では、本プランを活用して、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善について指導助言が行われている。また、各校では、各校の実態等に基づいた学力向上推進プランを作成している。

川口市小学生 English コンテスト

日々の英語学習の成果を発表することを通して、英語を使う喜びや楽しさを味わわせるとともに、英語学習に対する目標を高めることを目的とし、市内小学校5・6年生の希望者を対象として、冬季休業中に実施している行事のこと。

川口の元気夢わーく体験事業

市立中学校において、1年生または2年生が、市内及び近隣の事業所、施設等で、3日間の社会体験活動を行い、地域の中でさまざまな人々とのふれあいを通して、自らの生き方を考え、生涯にわたり豊かな自己実現を図ることのできる能力や態度を育てることをねらいとして行う事業。

Kawaguchi ボトムアップシート

埼玉県学力・学習状況調査の結果を基に、各学校が「Kawaguchi ボトムアップシート」の作成を通して児童生徒の学力や学習に関する事項等を組織的に分析・検証等を行えるようにしている川口独自の取り組みのこと。学力下位層の児童生徒に焦点をあてることで、つまずき等を早期発見し、児童生徒一人ひとりの確実な学力向上が図られるよう市教育委員会と学校が一体となって活用を行っている。

GIGA スクール構想

児童生徒向けの1人1台端末と通信ネットワーク等の学校 ICT 環境を全国の学校現場で一体的に整備することで、児童生徒一人ひとりに個別に整備することで、児童生徒一人ひとりに個別最適化され、創造性を育む教育 ICT 環境を生み出し、教育の質を向上する構想。

キャリア教育

児童生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促す教育のこと。

キャリアステージ

職責、経験及び適正に応じた成長段階のこと。埼玉県では、「校長及び教員としての資質向上に関する指標」において、教員のキャリアステージを、「採用前」「基盤形成・協力期」「充実・推進期」「深化・中核期」「発展・後進育成期」の5つのステージに区分している。

教育支援センター

不登校児童生徒が自らの進路を主体的にとらえ、社会的自立に向かえるよう、小集団での人間関係づくりや学習、教育相談等を行う仕組み。指導には、教育相談員・指導主事・カウンセラーがあたっている。本市では令和6年度より、適応指導教室から教育支援センターに名称を変更した。

教育相談支援員

教員の教育相談を補完し、スクールカウンセラー等と連携して、中学校区の児童生徒の相談活動を行う人材。

教職員メンタルヘルスカウンセラー

教職員の心の健康の保持増進のため、市内の小・中学校、幼稚園への巡回相談（個別面談）や電話相談を行うことにより、教職員のメンタルヘルスケアに取り組む者。

共生社会

障害の有無や年齢・性別の違いなど、さまざまな違いのある人々が、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら、共に生きていく社会。

協働的な学び

探究的な学習や体験活動等において、他者と協働して活動すること。同一学年・学級の児童生徒同士の学び合いだけでなく、異学年間の学びや他の学校の児童生徒との学び合い、地域の方々や多様な専門家との協働なども含む。

拠点校方式

特別支援学級における配置の方法で、全校設置方式と拠点校方式がある。拠点校方式は、学級内の人数をある程度確保し、集団活動を保障できるメリットがあり、クラスが複数になることが多く、教職員の連携やOJTによる資質の向上が見込まれる。

クラウド型サービス

従来は利用者が手元のコンピュータで利用していたデータやソフトウェアを、ネットワーク経由で、サービスとして利用者に提供するもの。

ゲストティーチャー

特別に学校に招いて授業や、講義をしていただく、各種の職業人やボランティア活動に取り組む者。

健康教育

学校における健康教育は、学校保健・学校安全・学校給食のもつ独自の機能を尊重しつつ、それらを総合的にとらえ、児童生徒の健康の保持増進を図る教育である。

校内教育支援センター

学校には行けるけれど自分のクラスには入れない時や、少し気持ちを落ち着かせてリラックスしたい時に利用できる、学校の部屋のこと。川口市では、「ほっとルーム」と称している。

国際理解教育

「世界の人々が、国を越えて理解しあい、協力し、世界平和を実現すること」を理念とした教育。UNESCOが提唱したEducation for International Understandingの日本語訳。

個別最適な学び

目標達成に向けて、個々の児童生徒に応じて異なる方法等で学習を進めることや個々の児童生徒の興味・関心等に応じて、学習を深め、広げる学び。

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

学校と地域住民等がともに知恵を出し合い、力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みのこと。

さ行

サイエンスフィールドワーク

川口市立高等学校附属中学校の特色ある教育活動の一つで、地層観察、気象観測、天体観測など、現地実習や専門施設で行う体験活動。

埼玉県学力・学習状況調査

埼玉県のこどもたちの学力や学習状況を把握するための調査で、小学校 4 年生から中学校 3 年生を対象としたもの。学習内容の定着度や一人ひとりの学力の伸びを把握することで、教育施策や指導の改善を図る。この調査では、学力のほか、自制心、自己効力感、勤勉性、やり抜く力などの非認知能力についても調査をしている。

埼玉県家庭教育アドバイザー

埼玉県が実施する家庭教育支援や子育て支援に関する研修を修了し、「親の学習」の指導者として登録している者。

CIR

Coordinator for International Relations（国際交流員）の略称。川口市立高等学校及び附属中学校で英語の授業や国際理解教育に関する職務に従事する講師。

CBT

Computer Based Tasting の略でタブレット端末等を活用した調査のこと。

GTEC 研修事業

GTEC は、英語の「聞く」「読む」「話す」「書く」技能を測るスコア型4技能テストで、「生徒の英語力の伸びを測る」とともに、「教員の授業改善」を支援することを第一の目的として実施している。各技能の結果は得点で示され、生徒と学校それぞれに、4技能の到達度を把握できる「スコアレポート」を配付される。

GTEC 実施前：5月に「事前研修会」を開催し、授業における具体的手立てや定期テスト作成時のポイント等、授業改善の視点について考察。

GTEC 実施後：3月に「事後研修会」として、三者面談（英語科教員、指導課、ベネッセ）を実施し、結果の分析を通して授業改善に向けた具体的な話し合いを行う。

支援籍学習

障害のあるこどもと障害のないこどもがともに学ぶ機会の拡大を図るとともに、障害のあるこどもに、より適切な教育的支援を行うため、在籍する学校または学級以外に籍を置き、必要な学習活動を行う埼玉県独自の仕組み。

持続可能な開発のための教育（ESD）

Education for Sustainable Development の略称。将来にわたり豊かな生活が確保できるよう、環境、貧困、開発に起因する現代社会における問題を、主体的にとらえ、身近なことから取り組み、問題解決につながる新たな価値観や行動等の変容をもたらし、持続可能な社会を実現していくことをめざす学習・教育活動のこと。

持続可能な社会

「環境」「経済」「人間社会」のバランスがとれた社会。すなわち、有限な地球環境の中で、環境負荷を最小にとどめ、資源の循環を図りながら、地球生態系を維持できる社会のこと。

指定管理者制度

公の施設の管理をノウハウのある民間事業者等に委ねる制度のことで、地方自治法に定められている公民連携の手法の一つ。

指導主事

学校における教育課程、学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事する者。

社会に開かれた教育課程

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくため、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働をすること。

授業が変わる！川口のしかけ

「授業が変わる！川口のしかけ」と称して、以下、授業づくりの基本となる項目を示すもの。

か：必ず確認！【授業のゴール】

わ：わくわく ドキドキ【問題提示】

ぐ：グッド！と価値づけ【見方・考え方】

ち：ちょっと待とう！【こどもの思考】

し：しっかり確保！【振り返り】

主権者教育

政治の仕組みについて必要な知識の習得のみならず、主権者として社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、社会を生き抜く力や地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担う力を育む教育。

主体的・対話的で深い学び

「主体的な学び」とは、学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること。「対話的な学び」とは、協働、対話、考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めること。「深い学び」とは、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたりすること等に向かうこと。

小1 プロブレム

小学校 1 年生の児童が、学校生活に適應できないために起こす問題行動。例として、集団行動がとれない、授業中に立ち歩く、人の話を聞こうとしない等があげられる。

小学校低学年基礎学力定着度調査

平成 28 年度より小学校 2、3 年生を対象に実施している。小学校低学年の学力の状況を把握するとともに、指導方法の工夫を行い、国語・算数における指導方法の改善を行い、基礎基本の確実な定着を図ることを目的とした調査。

消費者教育

自らの利益の擁護及び増進のために自主的かつ合理的に行動し、消費者の権利を実現するように努め、自ら進んで、消費生活に関して必要な知識を習得し、必要な情報を収集するなど、自主的かつ合理的に行動するように努める「自立した消費者」の育成をめざす教育。

情報活用能力

学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報を分かりやすく発信・伝達したり、必要に応じて保存・共有したりといったことができる力。このような学習活動を遂行する上で必要となる情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ、統計等に関する資質・能力等も含む。

食育

生きるうえでの基本であり、知育・徳育・体育の基礎となるべきものと位置づけられ、さまざまな経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てるもの。

人権感覚育成プログラム

体験活動や参加体験型活動を通して、児童生徒等の人権感覚を育成するためのプログラムを集めたもの。学校教育編、社会教育編、学校教育編増補版、学校教育編第 2 集の 4 冊が刊行されている。

新体力テスト

小・中・高校生が毎年実施する体力に関するテスト。8項目（握力・上体起こし・長座体前屈・反復横跳び・20mシャトルラン【主に小学校】・持久走【主に中学校・高等学校】・50m走・立ち幅跳び・ボール投げ）で実施し、体力の実態を把握し、体育指導に活かす資料とすることなどを目的とするもの。

スクールガード

各小学校区を中心に、組織的に児童の安全に向けた自主的活動を行う学校安全ボランティア。

スクールガード・リーダー

各小学校から推薦された学校安全ボランティアであり、地域ぐるみで効果的・継続的なことの安全確保に向けた体制整備に中心となって取り組む者。

スクールカウンセラー

児童生徒の心のケアや、学校生活の中で起こるさまざまな問題に対応する心理の専門家。

スクールソーシャルワーカー

いじめ、不登校、虐待、貧困など、課題を抱えるこどもに対して、家庭・学校・地域など周囲の環境に働きかけ、問題の解決を図る福祉の専門家。

すこやか相談員・サポート相談員

児童生徒、保護者との相談等に応じる中学校に配置されている教育相談支援員。

ストーリーテリング

語り手が物語を覚えて語り聞かせること。図書館では、こどもと本を結びつける手立てのひとつとして、おはなし会の中で行われることが多い。

性的マイノリティ

多くの人（マジョリティ）は、身体の性と性自認が一致し、性的指向が異性に向かうが、身体の性別と性自認が一致しない、性的指向が同性や両方の性に向かうなど性のあり方がさまざまな人も一定数存在する。このような人々のことを「性的少数者（性的マイノリティ）」と言う。

接続期プログラム

幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図るために、接続期の教育内容のつながりをまとめたもの。

アプローチカリキュラム（幼稚園・保育所における5歳児の1～3月）

スタートカリキュラム（小学校第1学年の4～5月）

全国学力・学習状況調査

文部科学省が実施する、全国的にこどもたちの学力・学習状況を把握するための調査。小学校6年生及び中学校3年生を対象としている。

Society 5.0

AI や IoT などの先端技術を活用し、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会。我が国がめざすべき未来社会の姿として提唱されている。

た行

知識基盤社会

新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要性の増す社会。

中1ギャップ

文部科学省調査「問題行動等調査」の結果を学年別に見ると、小学校6年生から中学校1年生でいじめや不登校の数が急増するように見えることから言われ始めた言葉。

ディベート

指定された議題に対して、肯定側と否定側の立場に分かれて、ルールに基づいた議論を行い、審判が説得力のあった方を決めるもの。討論ともいう。

デジタルネイティブ

生まれたときからインターネット環境があたりまえのように存在していた世代のこと。日本では1992年以降に生まれた世代が該当する。

統合型校務支援システム

「教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）・保健系（健康診断票、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系など統合した機能を有しているシステム」を指し、成績処理等だけでなく、グループウェアの活用による情報共有も含め、広く「校務」と呼ばれる業務全般を実施するために必要となる機能を実装したシステムのこと。

特別支援学級

小・中学校において、知的障害、弱視、自閉症・情緒障害、などの障害のある児童生徒に対し、障害による学習上または生活上の困難を克服するために設置される学級。児童生徒8人に対し、教員が1人配置される。

特別支援教育

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。

特別支援教育アドバイザー

巡回教育相談、特別支援学級や通級指導教室の担当者への指導助言、特別支援教育に関する校内研修の講師等を行う専門スタッフのこと。

特別支援教育コーディネーター

教職員が、児童生徒への適切な支援のために、関係機関・関係者間を連絡・調整し、協同的に対応できるようにするための役割として指名されている者。

特別支援教育こども支援員

発達に課題のある又はあると思われる児童生徒に対する学習活動の支援、健康面の把握や安全面の確保に関する支援を行う者（旧：特別支援教育支援員・特別支援学級等補助員）。

徳力

「自己の生き方を見つめ、よりよく生きようとする力」を表す言葉。

トライアングルプロジェクト

文部科学省が厚生労働省と連携し、家庭と教育と福祉の更なる連携をめざすこと。

な行

ネットリテラシー

インターネットを正しく使いこなすための知識や能力。

ノーマライゼーション

障害のある人が障害のない人と同等に生活し、ともに生き生きと活動できる社会をめざす考え方。

は行

博学連携

博物館と学校が相互に連携・協力してこどもの教育に当たる取り組み。

パスファインダー

テーマに沿った本やインターネットの情報をまとめた、調べ方案内のリーフレットのこと。

PDCA サイクル

業務プロセスなどを管理・改善する手法の一つで、計画(Plan)、実行(Do)、点検・評価(Check)、改善(Action)という4つのステップを繰り返し行うことで、継続的にプロセスを改善・最適化していく手法のこと。

非構造部材

建築物を構成する部材のうち、柱、梁、壁、床等の構造体以外の天井、窓ガラス、照明器具などのこと。

5 ラウンドシステム

教科書を効果的に活用する指導法で、教科書の全単元のストーリーを年間で5巡(5ラウンド)繰り返し学習する方法。年間を通じて同じストーリーを繰り返し学ぶことにより、ラウンドごとに設定されたねらいの達成をめざす。英語の習得を促進する「インプット」から、実際に英語を使って表現する「アウトプット」への流れを大切にした展開により、より効果的な英語表現の習得と定着を可能にする指導法。

不易流行

松尾芭蕉が使った言葉で、いつの時代においても変わらない本質的なものは守りつつも、時代の変化に適応していくことが重要であるということ。

部活動指導員等外部指導者

部活動指導員は、中学校・高等学校等において、校長の監督を受け、部活動の技術指導や大会への引率等に従事する者のことで、単独で顧問となることが可能。平成29年4月より学校教育法施行規則に新たに規定された。

外部指導者は、自治体が採用する部活動の技術的指導を補助する者。

文化振興助成事業

市民が自主的に行う文化芸術活動、又は文化芸術に接する機会を提供する事業を市内において開催するものに対して助成するもの。

放課後子供教室

放課後等にこどもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域住民等の参画を得て、学習やさまざまな体験・交流活動の機会の提供を通じて、こどもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する事業。

放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後等に小学校の余裕教室や児童館等を利用して適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る事業。

本庁舎ギャラリー

市民の皆様の作品を展示し、本庁舎 1 階多目的スペースに親しみをもって利用していただくことを目的とした事業。

ま行

学びの多様化学校

不登校児童生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する学校として、文部科学大臣の指定を受けた学校のこと。従来は「不登校特例校」の名称を使用していたが、令和 5 年 8 月より「学びの多様化学校」の名称を使用することとなった。

3つのめばえ

小学校入学までにこどもたちに身に付けてほしいことを、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の視点から、埼玉県が独自にとりまとめたもの。

ミドルリーダー

およそ 10 年経験した中堅教員であり、校長の学校経営に基づいて、学校づくりを最前線で担うチームリーダーのこと。

無形民俗文化財

民俗文化財のうち無形のもの。衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗習慣、民俗芸能、民俗技術など、人々の生活の推移の理解に欠くことのできないもの。

MEXCBT

文部科学省が開発した児童生徒向けの公的オンライン試験・学習システム（CBT: Computer Based Testing）。学校や家庭から GIGA スクール端末を使って学習やアセスメント（評価・分析）を行える。

や行

薬物乱用防止教室

薬物乱用の危険性を熟知している警察職員や学校医、学校薬剤師等の協力を得て、薬物に対する正しい知識や乱用の恐ろしさについて指導する教育活動。

ユニバーサルデザイン

すべての人のためのデザインを意味し、年齢や障害の有無などにかかわらず、誰もが無理なく利用できる商品やサービス、あるいは家や街並み等のデザインのこと。

幼保小の架け橋プログラム

こどもに関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期（義務教育開始前後の 5 歳児から小学校 1 年生の 2 年間）にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人ひとりの多様性に配慮したうえですべてのこどもに学びや生活の基盤を育むことをめざすもの。

ら行

ライフステージ

人間の一生におけるそれぞれの段階のこと。幼年期・児童期・青年期・壮年期・老年期などに分けられる。教職員については、若手の段階、中堅の段階、ベテランの段階に分けられることが多く、それぞれの段階で、初任者研修、5年次研修、中堅教諭等資質向上研修、20年次研修が実施されている。

レファレンスサービス

何らかの情報あるいは資料を求めている図書館利用者に対して、その情報あるいは資料を効率的に入手できるように、図書館員が援助するサービスのこと。

川口市教育振興基本計画

発行：令和 8 年 4 月 川口市教育委員会

編集：川口市教育委員会 教育総務課

〒332-8601 川口市青木 2-1-1

電 話：048-258-1258（直通）

F A X：048-259-4973

https://www.city.kawaguchi.lg.jp/kosodate_gakkou/kyoikuiinkai/index.html

（川口市教育委員会）